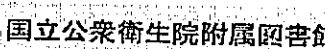
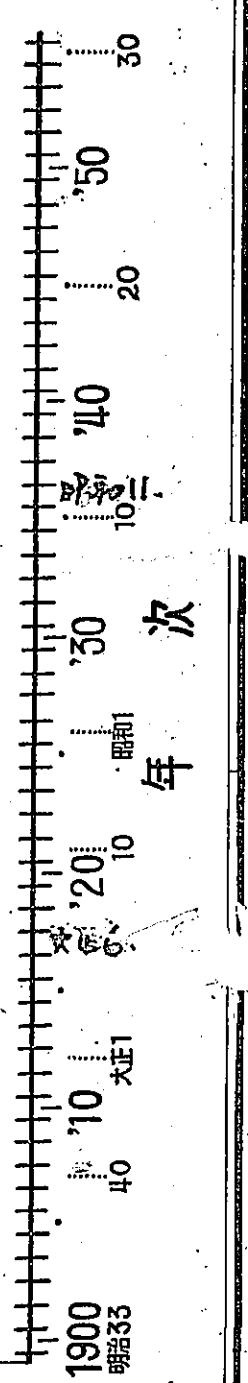
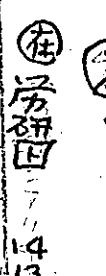


保健衛生調查會 報告書

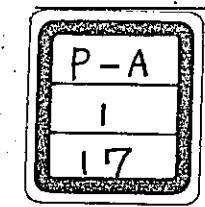
受入先	松浦十四郎先生寄贈
受入日	'98.3.10
登録番号	72670
所 在	

Library, National Institute of Public Health



A standard linear barcode is positioned above the identification number.

00018297



六月二日 大正九年

第一回 報告書

保健衛生調査会第一回報告書

第一章 本会の設立

歐洲ニ於ケル重要ノ人口問題ハ生産率ノ減耗ニ在リ其ノ程度ヤ継令仏國ノ如ク甚シカラ
ストスルモ全歐ノ各国何レモ生産率ノ減耗セサルヘアラス之ヲ英國ニ觀ルニ一千八百七
十一年以降五ヶ年ニ在テハ平均人口千ニ付三五。五ヲ最高トセシニ一千九百十二年ニ至
リテヘ二三・八ニ降下シ最高ノ百ニ対スル六十七ト為リ独逸ハ英國ニ遡ル、ヨト五年ナ
ル一千八百七十五年以降ノ五ヶ年ニ於テ平均人口千ニ付三九。ニヲ最高トセシモノ一千
九百十二年ニ至リテヘ二八・三ニ降下シ最高ノ百ニ対スル七十二ト為レリ左レハ歐洲諸
國ニ於テハ之カ原因ヲ調査研究シ進テ之カ除却防遏ニ努メフ、アリ而カモ生産率ノ減耗
此ノ如ク甚シキニ拘ヘラス尙其ノ人口ノ減少ヲ見サルヘ莫ニ死亡率ノ低下著シキニ因ラ
スムヘアラス即チ近世ノ最高率ナル一千八百七十一年慶降五ヶ年ノ平均仏國ヘ人口千ニ
付二五・〇ナリシモノ一千九百十二年ニハ同一七・五ト為リ独逸ハ同二八・二ナリシモ
同一五・六ト為リ英國モ亦同二二・〇ナリシモノ同一三・三ト為リ之ヲ各最高ノ百ニ対
スル比例ト為セハ仏國ヘ七十、独逸ヘ五十五、英國ヘ六十二當レリ故ニ其レ人口増殖率
ハ一二國以外ニ於テハ依然トシテ変化ナク寧ロ却テ近ク其ノ增多ヲ見タル邦國サヘアル
ナリ

テ本邦ノ情況ヲ見ルニ生産率ノ減耗未タ來ラス却テ年々上昇ノ観アルヲ以テ表面遮ニ
佳良ノ状態ナルカ如シト雖更ニ觀察一步ヲ進ムレヘ頗ル寒心ニ堪ヘサルモノアリ即チ本
邦ノ婚^田率生産率ノ推移ヘ恰モ半世紀前ノ英國ニ酷似シ晚婚ノ增加ヘ既ニ既ニトシテ証
スヘキモノアリ若シ文化ノ進歩ニ隨伴ニル惡影響ノ襲來スルコト東西其ノ^タ一ニエル
トセハ生産率ノ減耗ヲ來スコト亦決シテ遠カシナルフ思ヘサルヘカラス而カモ英國ニ於
テハ半世紀前ノ當時既ニ死亡率低下ノ道途ニ在リシニ本邦ニ於テハ今ヤ稍々上昇ノ傾向
アルカ如キ是レ豈ニ等閑ニ附スヘカラサル現象ナラスマ

更ニ年齢別死亡率ニ就テ觀察スルニ英國及独逸ニ於テハ幼者並青年者壯年者ノ死亡著シ
ク減少シタルコト總死亡率低下ノ原因ト為リ仏國ニ於テハ幼者ノ死亡ノ著シク減少シタ
ルコト其ノ原因ヲ為セリ然ルニ本邦ニ於ケル累年ノ年齢別死亡率ヲ見ルニ青年者壯年者
就中幼者ノ死亡著シク増加セルコト実ニ總死亡率增加ノ原因ヲ為シ其ノ関係全ク英仏獨
ノ三國ト正反対ヲ示セルヘ殊ニ注意スヘキ重大事実ナリトス

本邦ニ於ケル死亡率ノ前頭三国ニ比シ低キハ僅ニ老練者ト一部ノ幼者トアルノミニシテ
青年者壯年者ノ死亡率ニ至リテヘ三国ニ比シ夫ニ其ノ二倍乃至三倍ノ多キニ達セリ国民
ノ中堅トシテ一面ニヘ国防ノ任ヲ負ヒ一面ニヘ生産ノ原動力タルヘキ重要ノ地位ニ在ル

者ニシテ其ノ死亡率ノ高キコト斯ノ如シ國家ノ不祥蓋シ之ヨリ大ナルヘナカルヘシ惟フニ
國運ヲ伸暢シ國力ヲ充實スル進テ國民ノ健康狀態を調査シテ之ヲ保維スルニ必要ナル事項
ヲ明ニシ更ニ國民ノ健康ヲ毀傷スヘキ原因ヲ探究シテ豫メ其ノ逼迫ニ備ヘ若クヘ之ヲ除
スルノ策ナカルヘカラス保健調査ノ至要ナル所以美ニ此ニ存ス

歐洲ニ於ケル乳兒及小兒死亡ノ減少ハ主トシテ乳兒及小兒保護ノ結果ナリト認メラル就中独逸ノ如キモアヘ生産千ニ付一歲未滿ノ乳兒死亡二百五十乃至三百ナリシモノ今ヤ百六十以下ト為リ英國ノ如キ最近其ノ率僅ニ九十五ト為レリ然ルニ本邦ニ於テヘ生母親ラ育スル良習慣アルニ拘ヘラス明治二十一年ニヘ死亡率百十ナリシモノ漸次增高シテ今ヤ百六十超ニルニ至レリ殊ニ一歲以上ノ小兒死亡率ニ至リテヘ其ノ高キコト他ノ文明國ニ比類ナク乳兒ノ死亡率最高キヲ以テ知ラレタル塊地利ニ比スルモ尙遙ニ高キヲ見ル是レ真ニ容易ナラサル一大事ニシテ深ク意ヲ致サヘルヘカラサルナリ若シ能ク其ノ原因ヲ探究調査シ之ニ対スル適當ノ施設ヲ策スルヲ得ヘ以テ全死亡率ノ割合ヲシテ著シク減少セシムルコトヲ得ヘク又以テ青年者壯年者ノ健康ノ基礎ヲ樹立スルコトヲ得ム

更ニ歐洲ニ於ケル青年者壯年者ノ死亡率ニ就キ之ヲ觀ルニ其ノ減少ヤ固ヨリ諸般ノ原因ニ基クト雖就中著明ナルモノア結核性疾患ノ減少ト為ス表テ本邦ノ情態ヲ見ルニ結核性疾患ハ年々増加シ其ノ青年者及壯年者ヲ侵ストノ多キ是レ亦他ノ文明國ニ其ノ此ヲ見ス而カニ生殖時代ニ於ケル女子ニ於テ比較的其ノ數多キヲ見ルノヨナラズ農村ニ於テ同病ニ因ル疹瘡亦少カラサルカ如キヘ真ニ憂フヘキ情態ナリト謂フヘシ即チ此等ニ因スル原因ヲ精密ニ調査シ然ル後之カ防止及制遏ヲ策ヲ講スルヘ今日ニ於ケル國家並社會衛生上焦眉ノ急務ト謂ヘサルヘカラズ

以上概説スル如ク我國民ノ健康狀態ハ今ヤ大ニ考慮ヲ要スヘキモノアリ各種ノ方面ニ涉リテ學理的ニ仔細ニ調査攻究ヲ尽シ以テ之カ改善ノ方途ヲ定ムニ非スムヘ終ニ百年ノ大計タルコトナキヲ保セヌ即チ國民健康ノ狀態ヲ更ニ精細ニ調査シ國民ノ健康ヲ毀損スヘキ原因、其ノ制遏除却ノ必要ナル事項、並國民ノ健康保持ト増進トニ必要ナル事項ニ付之カ調査攻究ヲ要スルヘ勿論殊ニ乳兒幼者青年者壯年者ノ死亡率增高ノ原因ヲ調査シテ之カ防過ノ方策ヲ定ムルノ外國民保健上最モ重要ナル關係ヲ有スル肺結核花柳病等ノ疫防撲滅飲食物殊ニ營養物ノ廉価供給方法、都市農村ニ於ケル生活改善ノ研究等ヘシレモ當然企劃セラルヘキ事項ナリト信ス而シテ其ノ調査攻究ハ一一統計的調査ニ依リテ実情ヲ查明スルト共ニ之カ原因ヲ求勘探スルニ努メ一ヘ學術的調査ニ依リテ學說並先進國ノ施設ヲ研究調査シ必要ニ應シ實際ニ就キ調査ヲ為スヲ要スヘシ而シテ之カ為特ニ専門ノ知識ヲ有スル者ヲシテ專ラ之ニ當ラシメ順ヲ迫テ着々調査ノ進捗ヲ期セント欲ス是レ本会ノ設立セラレタル所以ナリトス

一木内務大臣へ左ノ示ヲ為セリ

保健衛生調査会開設ノ初ニ当リマシテ各位ト相会シテ一言致シマスル機会ヲ得マシタコ
ヨハ私ノ深ク欣幸ト致ス所アリマス我邦ノ衛生上ノ施設ヘ年ト共ニ進歩致シテ居リマ
スルノニ拘ヘラス之ヲ統計ニ微シマスルト一般ノ死亡率ヘ却テ増加ノ傾向ヲ示シテ居マ
ス就中乳児、幼児、青年者、壯年者ノ死亡率ニ至リマシテハ著シタ増加ノ傾向ヲ呈シテ
居リマス又結核結症、花柳病、...トロホ...ト...外精神病院如キモノカ國民ノ健康ヲ害
シマスルコトカ益々著シクナラムトヘルノ有様ヲ呈シテ居リマス加之國民ノ体格カ漸ク
低下セムトスルカ如キ有様ノアリマスルヨリヘ寔ニ輕々シタ看過スヘカラサルノ現象ヲ
アリマス。就チヘ國民ノ衛生ノ実状及ヒ其不良ヲ來シマスル所ノ原因ヲ探究致シテ進テ
是カ豫防制圧ノ方法ヲ攻究致シ又國民ノ健康保持ニ必要ナル事項ヲ調査致シマシテ諸般
衛生上ノ改善ニ資スルト御フコトヘ實ヘ目下ノ急務ヲアルト信スルノアリマス此度保
健衛生調査会ヲ設ケマシテ専門ノ學識経験ヲ具ヘラルル各位ヲ頼ハスニ至リマシタ越旨
ハ全ク之ニ外ナラヌノテアリマス此調査ヘ學理ニ照シ、實際ニ微シテ精密ニ審査ヲ致シ
マシテ事實ノ真相ヲ明ニ致シ之ニ対應スル所ノ最善ナル方法ヲ計画セムトスルモノヲア

リマシテ其事タル極メテ重要ヲアルト同時ニ又極メテ困難ナルコトテアルト存スルノテ
アリマス唯是カ經費ノ充分ヲナイト言フコトハ甚々遺憾アリマスルケレトモ目下國費
多端ノ折柄实ニ已ムヲ得サル次第アリマス此辺ヘ御諒察ノ上何卒諸君ノ御尽力ニ依リ
マシテ此調査ノ実績ヲ擧クルニ至ラムコトヲ切ニ希望シテ止マナイノテアリマス效ニ会
フ創立ルニ際シマシシテ調査会ヲ開設スルニ至リマシタル所ノ趣旨並ニ之ニ就イテ持ツテ
居リマスル所ノ希望ヲ一言シテ開会ノ辞ト致シマス